

# 古代の心が、伝わってくる。 ミステリアスな世界に触れる。

昔は出入りが自由で、子どもの頃よく遊びに行ったものです。この古墳は、江戸時代に開かれ、壁に描かれた左右一対の同心円が、女性の乳房を連想させたことから、乳の神様「乳房さん」(後にチブサンに変化)としてあがめ親しまれてきました。

以前、横浜からこられた方々が、壁面に描かれた白い円を「古代のUFOで、当地はUFOの基地であった。」とか、下方の人物に見えるものは、「UFOを迎えて喜ぶキング・オブ・キングスである。」など非常にユニークな発想をされて大変賑わったことがあります。

このように、見る人それぞれが自由な発想で解釈できるのが装飾古墳の、面白さだと思います。

古墳の発見で工事が一時中断したり、莫大な経費を投入してこれを移築保存したりする際、その必要性がよく問題になります。

日本の古墳時代(四〜七世紀)、既に中国では、政府によって正史が編纂され、文献も豊富に残っています。



山鹿市立博物館長 原口長之



す。ところが、わが国には古事記(七二年)が登場するまで、一部の金石文を除いて全く記録がありません。この開びやく以来の空白を埋める重要な手掛りを与えてくれるのが古墳であり、その壁画です。

古事記や日本書紀に「死ねば魂は鳥になって天に昇る」(民俗学で天の鳥舟思想という)という意味の物語があり、これを裏付けるように、山鹿市の弁慶が穴(チブサン)の東方約五百メートルにある六世紀後半の古墳)には、舟に板が積まれ、その

上に鳥がとまっている絵があります。このほか同様の図柄をもつ古墳は、筑後あたりまで及んでいます。文字をもたなかった私たちの祖先が魂の叫びを描いた壁画こそ、抽象画のはしりといえるのではないのでしょうか。

薄明の石室の中で、壁画に對している人と脈々と古代人の心が伝わってくるようです。(文責 広報課)

古くから乳の神として信仰されたことからチブサン古墳と呼ばれている。この古墳は、全国的に有名な装飾古墳で、六世紀前半に築造された、全長約四十五メートルの前方後円墳である。現在、東京博物館にある石人は、チブサン古墳の墳丘に立っていたものである。石室は、南を向き全長五・五メートル、小さな前室の奥に後室があり、長さ、幅、高さとも二・六メートルで家形石棺を安置している。

正面と左の石には、赤、青、白で三角形や菱形を描いており、菱形の中の二重の円が乳に見えるところからチブサン古墳と呼ばれた。右壁には、王冠をつけ、両腕、両脚をひらげて立っている人物像が描かれている。



## 心のふるさと 民話とわたし

# がわつばとお竹どん



●感想文  
荒尾市立平井小学校  
四年  
石橋 みえさん



●感想画  
荒尾市立平井小学校  
四年  
河口 真美さん

私が一番おもしろかったのは、井手川という所で、がわつばが男にいたずらをしたとき、男が、びくをじっとみていたら、くろい手がでてきた所だった。がわつばのあいきようはここだと思ふ。

がわつばは、はじめいいことをおしえたので、やさしいなあーと思つたけど、いたずらをするので、悪いなあーとも思つた。男はがわつばをひきずっていったのでぎんこくだと思つた。がわつばは、さらの水がないと、カがはいらないのでかわいそうだ。お竹どんはやさしいと思ふ。お竹どんにがわつばがおじきをしていったのでふしぎだった。

この話は、わたしのすんでいる荒尾市の平井校区の話ときき、きょうみをもつた。わたしは、あいきようがあつて、いたずらぎのがわつばにあつてみたいと思ふ。



## 「がわつばとお竹どん」あらまし

むかし、荒尾市の平井というところの井手川に、がわつばがたくさんいた。ある夏の日の昼さき、釣竿とびくを持ったひとりの男が通りかかると、甲を干していた一びきががわつばが、「太か木の根つこの所に、鯉や鮒や鯰がぐじやぐじやおるばい。」と教えてくれた。

なるほど、魚がおもしろいほど釣れた。一時間ばかり釣つてから、びくの中をのぞいてみると、なんと驚いたことに魚は一匹もはいっていない。

がわつばのいたすに気づいた男は、今度は知らん顔でじつとびくの方を見ていると、水の中から黒い手がすうと伸びてきた。男は、すかさずがぶつとその手を押さえて、力いっぱいがわつばの頭をたたき、さらの中の水を落してしまつた。そして、家まで連れて行き、馬小屋の柱に縛りつけてこらしめることにした。

ところが、このがわつばが泣いて仕方がないので、女中のお竹どんは、馬の飲み水をがわつばの頭に浴びせかけた。すると、がわつばはいっぺんに何十倍もの力が出て、縄を引きちぎって川へ逃げて行った。がわつばは、川にはいる前にお竹どんの方を振り返り、何べんも何べんもおじきをしたという。

それから、お竹どんがいる間は、がわつばのいたすらがなかつたそう。